

今日の間伐作業で、かなりの数を切っても、木がなくなったというほど切れてないと感じたと思います。まだまだ周りの木を見ながら間伐していかなければなりません。人が手を入れて木を植えたりしても、常に見続けていかなければいけないというのが里山なんです。木を植えたからそのまま切なくていいわけではありません。常に自然を見守っていく、それが非常に重要ですよ。この活動もずいぶん長くなっていますけれども、手を加える以上、それをフォローしていかなければいけないというのが今までの我々のやり方になっていますから、これからも宜しくお願いします。



大竹インスペクター

間伐作業をして、成長した木がたくさん見受けられて、あらためて森が成長しているのを感じました。道路についていろいろ議論しまして、幹線道路をきちんと整備すると周辺地域、住宅地に入り込む車両というのは当然少なくなるという効果があるとは思っておりますが、道路ができたことによるCO₂の変動量や騒音の概算値が出てきています。生態系への影響については、道路があってもなくても今日みたいな維持管理活動が必要ですので、こういう活動をずっと続けて良い森にしていくということが大事だと思いました。



藤田インスペクター

グループ活動

施工グループ

相生口の間伐材の掲示板が破損していたので、施工グループで補修作業を行いました。



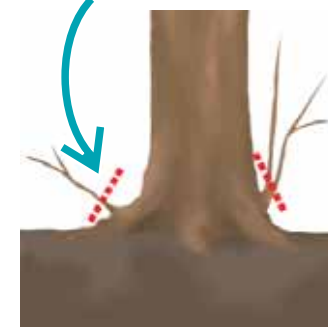
ススめの掲示などに利用していきます。

植物グループ

根株移植のサクラと萌芽更新木のモニタリングを行いました。



ひこばえの剪定を
しました。



【ひこばえ】
木の根元から出てくる細い枝のこと。見栄えが悪いばかりでなく、ひこばえに養分を吸い取られ生育の妨げになるので早めに根元から切り取るようにします。



問い合わせ先

名古屋市 緑政土木局 道路建設部 道路建設課内「環境に配慮した道づくり」施工ワーキング事務局
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
電話:052-972-2873 FAX:052-972-4168

<http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/53-3-7-0-0-0-0-0-0-0.html>

植生管理

参加メンバー全員で、植生管理を行いました。シェルター構造上部では、一番初め（平成17年）に植栽した西側から35mの区間で約100本の間伐を行いました。東側のクズは、次の春の萌芽を抑えるため、できるだけ根本から刈り取るようにしました。

植栽した箇所の間伐作業



植物グループで
間伐の対象木を
マーキングします。

クズの伐採作業



作業前

工事用フェンスや
森側の樹木にもクズが
絡み付いています。

作業後



手前にあるのは、
伐採したクズです。

植栽する前には、
天地返しをしながら
クズの根を掘り取る
予定です。

1月の寒い日でしたが、作業すると汗が出てきました。

